

# 患者入退院時における薬局薬剤師との連携に係るアンケート調査

広島県東部保健所 生活衛生課 環境薬事係  
 広島県東部保健所福山支所 衛生環境課 食品薬事係

## 1 アンケート調査方法

### (1) 調査対象

三原市、尾道市、福山市、府中市、世羅町及び神石高原町に所在地のある病院（薬剤部門）66施設  
 （内訳：東部保健所管内21施設、福山市内及び東部保健所福山支所管内（以下「福山地区」という。）45施設）

### (2) 調査方法

調査対象施設に対して、調査用紙（別紙）を郵送にて配付した。回答は、原則、広島県アンケートシステムにより回収した。アンケートシステムが利用できない場合は、FAX、メール又は郵送で回収した。

### (3) 調査期間

令和5年12月27日～令和6年1月31日

## 2 調査結果

調査対象である66施設のうち、63施設（95.5% 内訳：東部保健所管内 21施設（100%）、福山地区 42施設（93.3%））から回答を得た。なお、本調査の「カンファレンス」とは、全て薬局薬剤師が参加するものをいう。  
 データ処理について、未回答及び回答に整合性が取れないものは「不明」として計上し、小数点第2位を四捨五入した。

### (1) 回答者の属性（表1）

常勤薬剤師数については、広島県救急医療ネットにより確認した。

常勤薬剤師数		1名	2名～4名	5名～9名	10名～19名	20名以上	合計
施設数	東部	3	9	5	3	1	21
	福山地区	10	22	5	3	2	42
	合計	13	31	10	6	3	63

### (2) 「地域連携薬局」認定制度の認知度

「知っている」 東部14施設（66.7%）、福山地区24施設（57.1%）

「知らない」 東部6施設（28.6%）、福山地区16施設（38.1%）

「不明」 東部1施設（4.8%）、福山地区2施設（4.8%）

### (3) 「薬薬連携」の必要性の認識

「必要である」61施設（96.8%）、「必要ではない」2施設（3.2%）

### (4) 「薬薬連携」の実績（表2）

表2

常勤薬剤師数	1名		2名～4名		5名～9名		10名～19名		20名以上		合計	
	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
実績												
東部 施設数	1(33.3%)	2(66.7%)	6(66.7%)	3(33.3%)	4(80%)	1(20%)	3(100%)	0(0%)	1(100%)	0(0%)	15(71.4%)	6(28.6%)
福山地区 施設数	4(40%)	6(60%)	12(54.5%)	10(45.5%)	2(40%)	3(60%)	3(100%)	0(0%)	2(100%)	0(0%)	23(54.8%)	19(45.2%)
全体 施設数	5(38.5%)	8(61.5%)	18(58.1%)	13(41.9%)	6(60%)	4(40%)	6(100%)	0(0%)	3(100%)	0(0%)	38(60.3%)	25(39.7%)

(5) 「薬業連携」の実績がない25施設における、理由の内訳（複数回答）（図1）

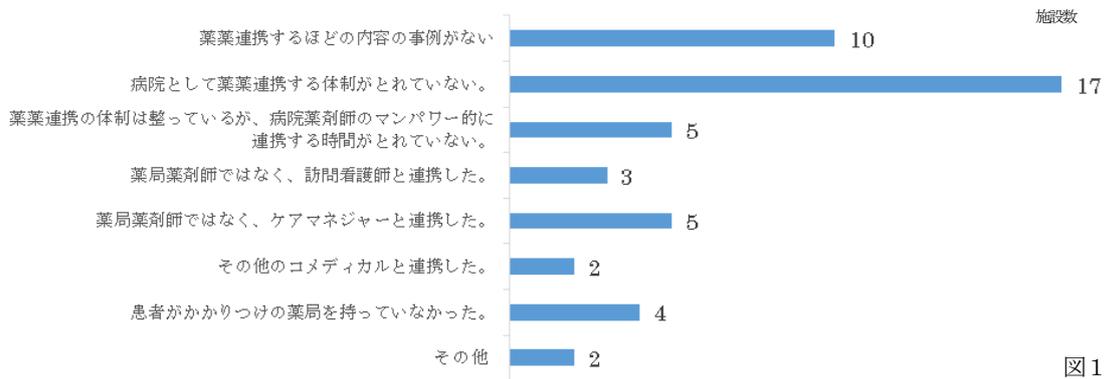


図1

(6) 「薬業連携」の実績がある38施設における、患者入院時及び退院時に薬局薬剤師と患者情報を共有する際に使用したことのある手段の内訳（複数回答）（図2）

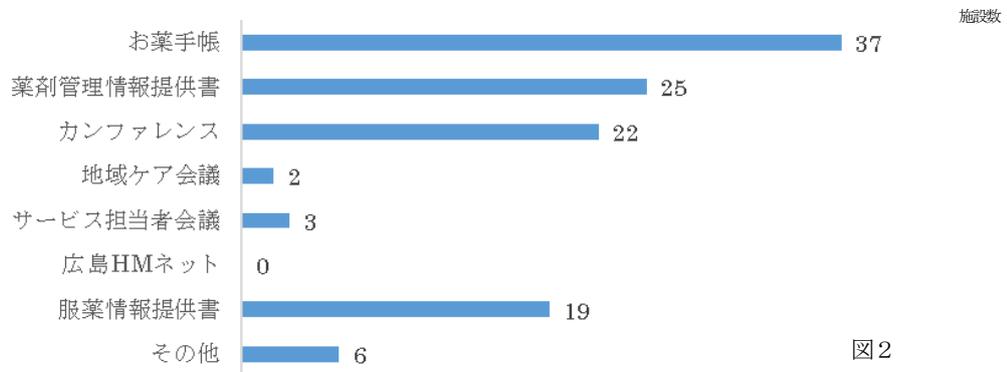


図2

(7) 「薬業連携」の実績はあるが、カンファレンスを実施したことがない、と回答した16施設について、「薬局薬剤師参加型のカンファレンスは必要だと考えますか」という問いに対する回答（図3、4）

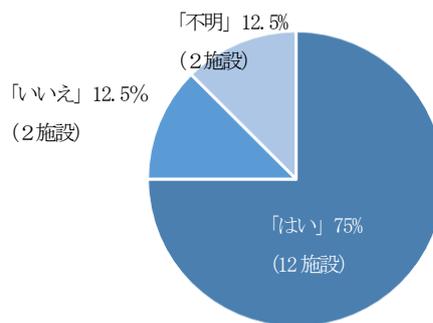


図3

ア 「はい」と回答した12施設について、現状でカンファレンス「なし」となっている理由（複数回答）（図4）

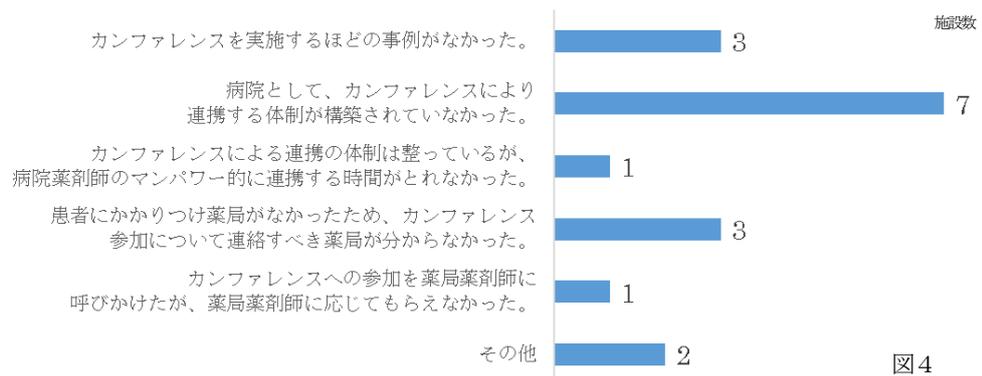


図4

(8) 薬局薬剤師参加型のカンファレンスを実施したことがある、と回答した22施設について

ア カンファレンス実施状況 (図5)

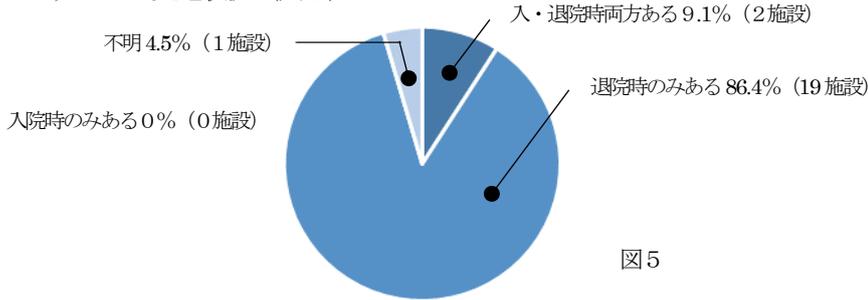


図5

イ カンファレンス依頼手段 (複数回答) (図6)

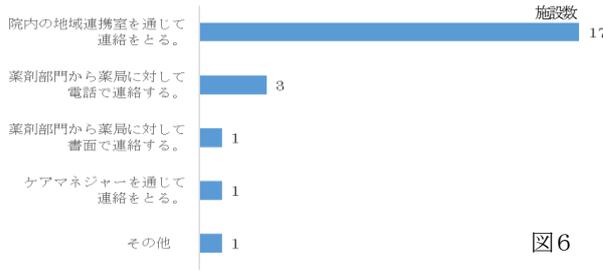


図6

ウ カンファレンス実施方法 (複数回答) (図7)

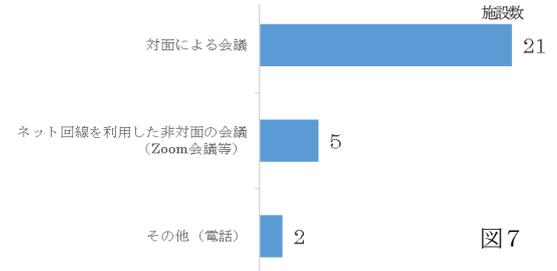


図7

エ 薬局薬剤師を参加させるカンファレンス実施に困難を感じるか。(表3)

表3

常勤薬剤師数		施設数	困難ではない	どちらも困難	入院時の方が困難	退院時の方が困難	不明	合計
			割合	割合	割合	割合	割合	施設数
1名	施設数	1	100%	0%	0%	0%	0%	1
2~4名	施設数	5	55.6%	33.3%	11.1%	0%	0%	9
5~9名	施設数	1	33.3%	66.7%	0%	0%	0%	3
10~19名	施設数	1	16.7%	50%	16.7%	0%	16.7%	6
20名以上	施設数	1	33.3%	33.3%	33.3%	0%	0%	3
合計	施設数	9	40.9%	40.9%	13.6%	0%	4.5%	22

(9) カンファレンス依頼時に地域連携薬局の認定を取得している薬局薬剤師であることを重視するか、という問いについて (表4、5、図8、9)

ア カンファレンス実施有病院 (22施設) 表4

		「地域連携薬局」認定制度を知っている		
		はい	いいえ	不明
地域連携薬局であることを重視する	はい	1	1	1
	いいえ	10	6	1
	不明	1	1	0

イ カンファレンス実施無病院 (12施設) 表5

		「地域連携薬局」認定制度を知っている		
		はい	いいえ	不明
地域連携薬局であることを重視する	はい	1	2	0
	いいえ	8	0	0
	不明	1	0	0

ウ 「地域連携薬局」認定取得であることを重視する理由 (複数回答) (図8)

- 無菌製剤処理を実施できる体制設備が整っているから。
- 在宅医療に対応できるから。
- 地域包括ケアシステムに関する研修を修了した薬剤師がいるから。
- 休日夜間の調剤応需体制が整っているから。
- 患者から相談があった場合、開局時間外であっても相談を受けられる体制が整っているから。
- 薬局薬剤師が薬業連携の重要性を理解していると思うから。

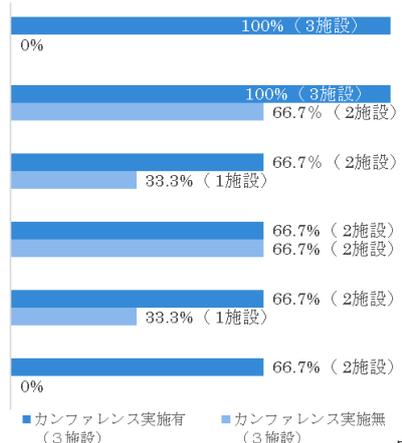


図8

エ 「地域連携薬局」認定取得であることを重視しない理由（複数回答）（図9）

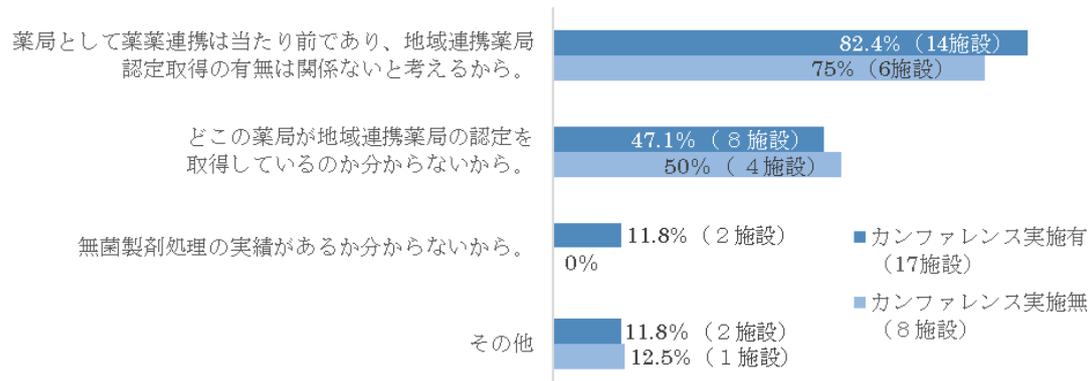


図9